

# HEART NET Vol.23

岩見沢市立総合病院 広報誌

2025年9月発行

ホームページ

<http://www.iwamizawa-hospital.jp>



TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください

## はあとやっ



[ご挨拶] 麻酔科診療部長 / 医療技術部長 / 薬剤部薬剤長 / 医療技術部 栄養科技師長  
[特集] 認定看護師のご紹介  
[特集] がん看護専門看護師の紹介  
[クッキング] イベントメニュー / 編集後記

写真: 看護の日イベントの様子



# 新任のご挨拶 New

麻酔科 診療部長  
伊藤 徹雄

2025年4月から麻酔科診療部長に就任いたしました伊藤 徹雄と申します。

1992年に札幌医科大学を卒業し同年に麻酔科学講座に所属し麻酔科医師を志しました。その後、札幌、旭川、函館、室蘭、北見の勤務を経て、札幌医科大学侵襲制御医学講座の大学院に入学しました。大学院では敗血症の呼吸不全に対する研究を行っていました。2005年に大学院を卒業し4月から当院の麻酔科に着任いたしました。そして当院での勤務20年目にして診療部長の大任を仰せつかりました。

当院での麻酔科の業務は主に臨床麻酔・周術期管理になります。手術前の患者さまの状態の評価、手術中の全身麻酔などの麻酔管理、手術室の運営を行っております。麻酔科で麻酔管理を行っている診療科は外科・整形外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・産婦人科・脳神経外科・眼科・精神神経科となっております。現代の手術は専門性も高く、技術も高度化しそれらに対応するように麻酔の種類・方法も多様化しております。当院では腹腔鏡による体への負担が少ない手術はもちろんのこと、da Vinciによるロボット支援下の手術を行っています。それぞれの手術において術中・術後の患者さまの状態を健全に保つためには専門的な知識と管理が必要となり日々研鑽に努めております。

また、現代は様々な合併疾患をもつ手術患者さまも多くなってきていますが、医学の進歩により以前であれば手術や麻酔の危険性が高く施行できなかった患者さまでも手術を受けることができるようになってきています。ただ、手術や麻酔にかかわる安全性を高めるために合併疾患をお持ちの患者さまには事前に検査や術前診察をしています。その上で、それぞれの疾患に対して事前に対処・準備を行い手術・麻酔管理を施行させていただいています。

南空知の地域特性として緊急の手術を施行できる病院が非常に少ないということがあります。当院は南空知の中核病院であることから、急に発症した病気や怪我などによる緊急の手術にも対応する役割を担っております。現に当院での麻酔科管理症例の35%(2024年)は予定外の臨時手術です。場合によっては緊急を要し、命にかかわるケースもありますので他の患者さまにはご不便をおかけすることもあるかもしれません。3年後には新病院が開院される予定です。当院の地域における役割はより一層重要性を増すものと考えおります。

手術という人生の中で何度も経験しない非常に大きなイベントを可能な限り安全で心安らかに終わることができるように支援することを目標に尽力したいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。

# Voice

医療技術部長  
坂本 哲哉



令和7年4月1日付で、医療技術部長を拝命いたしました坂本 哲哉と申します。職種は臨床工学技士で臨床工学科技師長も兼任しております。大役を任され、責任の重大さに身の引き締まる思いです。

医療技術部は、医療系技術職員である臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、管理栄養士、臨床工学技士からなる6科8職種90名を一元的に組織化した部門であり、各部門で活躍しております。医療技術部職員は本院の基本理念である「患者さまとの相互信頼関係に基づく良質な医療の提供」に徹し、医療の質の向上や患者サービス向上に資するために、医療技術提供や診療補助が出来るよう努めてまいります。

今年度からの目標としては、令和8年度の北海道中央労災病院との経営統合に向けて、南空知の中核病院として、医療技術機能保持や令和10年度の新病院の開院に向け、医師、薬剤師、看護師、事務職と協働しチーム医療の一員として、患者さまや市民の皆さまへ安全な医療提供を行ってまいります。私は、患者さまや職員に敬意を持って、職務に当たると共に、皆さまの役に立つことをやろうという気持ち(パブリックマインド)を持ち、組織の視野を広げ、将来のビジョンが持てる職員の育成を、目指していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 薬剤部薬剤長 小関 俊成

令和7年4月より薬剤部・薬剤長に就任しました小関 俊成と申します。

当院薬剤部は、16名の薬剤師が在籍し少数精鋭の体制で多岐にわたり薬剤業務を行っています。

お薬は、患者さまの病気やけがの治療に欠かせない存在ですが、治療効果が期待

できると同時に副作用の発現が大きい薬剤もあります。薬剤師は患者さまの安全を最優先に考え、最適な薬剤選択や副作用管理を行い、患者さまが安心して治療を受けられる環境を築けるよう努めております。

今年度、当院は「院外処方せん」を発行いたします。これは、より良い医療を患者さまに提供させていただくためです。薬剤師による服薬指導を受ける機会が増え、薬の適正使用が促進され、副作用のリスクを軽減することが期待されています。そして、地域の保険調剤薬局との連携を強化し、ともに患者さまの継続的な治療を支援する体制を構築し、南空知の地域医療の質向上に努めてまいります。

これからも薬剤師自らが研鑽を重ね専門性を高め信頼される薬剤師チームを育成し、患者さまの健康を守るために最適な薬物療法を提供できるよう医療チームの一員として業務展開していきたいと考えております。今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。

## 医療技術部 栄養科技師長 木村 香織

令和7年4月より、医療技術部栄養科技師長に就任いたしました木村 香織と申します。

私は岩見沢市出身で、大学卒業後はIT企業にて栄養関連ソフトウェアの開発・販売に携わる傍ら、スポーツ紙で栄養学や健康食に関する講座を担当しておりました。その後、精神科病院にて栄養管理業務に従事し、平成20年より当院に勤務しております。

平成28年からは栄養サポートチーム(NST)の専従として活動し、NST専門療法士として栄養障害のある患者さまや栄養管理が必要な患者さまのQOL(生活の質)向上、原疾患の治療促進、感染症などの合併症予防を目指し、多職種と協働しながら、一人ひとりに適した栄養管理に取り組んでまいりました。

今後は、「栄養はすべての治療の基盤である」という考えのもと、患者さまや地域の皆さまの暮らしを、食事を通じて支えていきたいと考えております。また、入院中だけでなく、退院後の生活においても、在宅医療や介護、各施設との連携を図りながら、切れ目のない栄養ケアを提供できるよう努めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



# 認定看護師の紹介

救急看護認定看護師の中村 一世と申します。令和7年4月より手術室師長を拝命し、新たなスタートとなりました。

札幌市内の高校を卒業後、岩見沢市立高等看護学院へ入学、卒業後の2003年に当院に入職し、今年で看護師歴23年目になります。看護師としてのキャリアの多くを急性期病棟で過ごしてきた中で、救急領域への憧れと学びへの意欲が次第に大きくなってきました。その中で、2018年の北海道胆振東部地震での災害支援ナース派遣を機に災害看護にも興味・関心を持ち、2023年に日本DMAT隊員資格を取得致しました。活動の中で、災害と救急が非常に密接に関係していることを実感し、災害・救急看護をもっと知りたい、学びたいと思い認定看護師教育過程へ挑戦致しました。

現在当院は経営統合、新病院開院へ向けて進んでおります。新病院ではHCU（高度治療室）・SCU（脳卒中集中治療室）の新設に加え、救急体制の大きな変化を迎えます。その一翼を担うことができるよう病態に応じた迅速な救命技術の提供をはじめ、患者さまの重症化予防、ご家族さまを含めた全人的なケアの実践を行っていきたくと考えております。加えて、救急領域における人材育成、体制整備へ尽力していきたいと考えておりますので、今後とも何卒宜しく願いいたします。



救急看護認定看護師  
(看護部 手術室師長)  
中村 一世

2024年12月に脳卒中リハビリテーション看護認定看護師を取得いたしました川田 寿々奈と申します。新人の頃から様々な診療科の病棟経験を経て、現在は脳神経外科病棟に勤務し8年目になります。脳神経外科病棟は、緊急入院や緊急手術が多く、専門性のある治療が必要です。そして、治療だけではなく、脳梗塞や脳出血といった脳血管疾患により麻痺や言葉の出にくさ（失語）などの後遺症を抱えることも多く新たな生活を構築する必要のある患者さまが多いです。脳血管疾患を発症した患者さまやご家族さまと関わらせていただく中で、感謝されることや、ケアにより回復していく患者様を見ていて脳神経外科の看護にやりがいを感じ、より一層の知識や技術を身につけ、患者さま・ご家族さまのお役に立ちたいと思い、この資格を取得しました。

現在は5階西病棟で勤務しているため、まずは専門的知識や技術を活用し、病棟の脳神経外科領域における看護の質を向上し患者さま、ご家族さまに提供していきたいと考えています。患者さまが病気や後遺症を受け止め、次の生活に進むことができるように、医師やリハビリテーションのスタッフ、管理栄養士、薬剤師、ケースワーカーなどの多職種と連携を図り、ケアを行っていきます。まだまだ、勉強中ではありますが予期せず脳卒中を発症した患者さまやご家族さまの支えになれるよう精進してまいりますので、今後とも宜しく願いいたします。



脳卒中リハビリテーション  
看護認定看護師  
(5階西病棟)  
川田 寿々奈

# がん看護 専門看護師の 紹介

がん看護専門看護師  
(緩和ケアチーム専従看護師)

佐藤 香奈



2024年4月に当院に入職しましたがん看護専門看護師の佐藤 香奈と申します。現在は緩和ケアチームの専従看護師として活動しています。以前は東京都や故郷である栃木県で仕事をしておりました。夫の実家がある岩見沢市への転居を決め、遥々北海道にやって参りました。

“がん看護専門看護師”という名前は馴染みがないと思いますが、1996年から日本看護協会認定を開始して約30年が経つ制度です。がん看護のほか、老人看護、慢性疾患看護、小児看護など13分野があります。私は30歳のときに大学院に入学し、がん看護を勉強しました。看護師経験10年で学生生活に戻ることは、人生の3本の指に入る大きな転換期となりました。私はがん看護の中でも、主に“緩和ケア”を学びました。成長を実感する学生生活になると思いきや、学習すればするほど未熟な自分を突き付けられ、予想外の苦しみとなりました。

2人に1人はがんになる時代となり、この冊子を手にとって下さった方もご自身、もしくは家族、親戚、友人が、“がんという病”と向き合っているかもしれません。約20年前まで告知しないこともあったのですが、がん医療は大きく発展してきました。しかし、その分難しい治療選択を迫られたり、加齢の変化と共に副作用の大きさを味わったりと全てが良くなった訳ではありません。家族構成も変化し、若者は都会へとどんどんと流れていきます。岩見沢市の動向を注視しながら、がん医療・がん看護のあり方を更に良いものへ向けていくことが大切だと考えております。

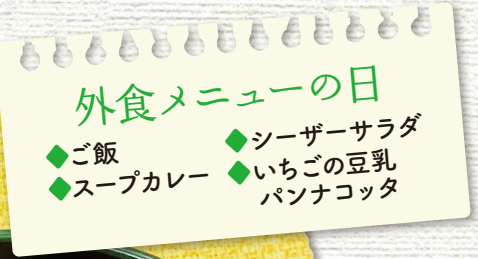
私のがん看護専門看護師として仕事ができるのは、私を活用してくれる方々がいてくださることに尽きます。瞬時に苦しみゼロになるマジックは使えませんが、皆さまの気がかりや困りごとを整理して一緒に対処方法を考えます。緩和ケアチームの一員として、痛みや気持ちの辛さなど、さまざまな苦痛に対して、多職種と協働してケアをさせていただきます。患者さま・ご家族さまが少しでも安心して療養できるよう努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

# 緩和ケアチームの取り組み



私が所属している“緩和ケアチーム”は主に入院中のがん患者さまの苦痛に対応しています。医師、薬剤師、社会福祉士、作業療法士、管理栄養士、がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん看護専門看護師という沢山の職種が在籍しています。職種毎に得意分野が異なることを強みにして、がん患者さまの生活の質が維持されるようにするには何が必要かを検討しています。緩和ケアチームの活動を更に推進し、地域全体のリソースとして活用されることを目指して日々活動しております。





### 今回の行事食のポイント

当初は観光客に人気のグルメとして話題になったスープカレーですが、近年では道内各地に専門店も多数オープンしており、地元民にも定番のメニューとなりました。ダイナミックな見た目も相まって気持ちがわくわくするようなメニュー「スープカレー」が今回のテーマにぴったりだと考え、行事食に取り入れました。

### 病院食ならではのポイント

“専門店の味”とまではいきませんが、大きな鍋でたくさんの食材をぐつぐつ煮込んで作るスープカレーは給食にしか出せない、「優しいうま味」がたっぷりです。デザートは時期の果物を使用し、いつもよりほんの少し贅沢に。食事の終わりまで楽しく、美味しい外食の雰囲気を感じて頂けたらという想いを込めました。

### 1人分の栄養量

- エネルギー 828kcal
- 塩分 3.0g
- たんぱく質 28.0g(13.5%)
- 脂質 32.4g(35.2%)
- 炭水化物 102.5g(49.5%)

●1日の摂取カロリーの目安:成人男性/2000~2400kcal 成人女性/1400~2000kcal ●1日の塩分摂取目安量:成人男性/7.5g未満 成人女性/6.5g未満 ●三大栄養素適切範囲:たんぱく質/12~15% 脂質/20~25% 炭水化物/60~68%



はあとねっとVol.23をお届けします。

はあとねっとVol.23をお届けいたします。暑かった日々も少しずつ和らぎ、秋を迎える時期になってきました。朝晩の気温差を考慮しなければならない今日この頃です。皆さまいかがお過ごしでしょうか？

病院では、5月12日(月)に看護の日イベントを開催しました。ご参加いただきました皆さまありがとうございました。また、7月7日(月)と7月14日(月)には市内の高校生を対象にした「ふれあい看護体験」も行われました。高校生の皆さんは、真剣に話を聞き、積極的に参加していました。現在、中央ロビー付近に「新病院完成予想模型」を展示しております。ご来院の際には是非ご覧ください。

今後も「はあとねっと」を通じて、地域の皆さまに新しい取り組みや診療に関する情報をお届けしていきたく思います。

サービス向上委員会